

『ニッポンの人材と育成と就業の現場』

vol.6

# 研究者・技術者の世界



研究者や技術者の実体を知る人はどれくらいいるだろうか。

「象牙の塔」に閉じこもる、何かしら“正体不明”の“浮世離れた”人物を想像する人が多いのではないか。

けれども私たちの生活は、彼ら彼女らが努力の末につくりあげた

無数の原理や法則、技術、知見といったものの上に成り立っていることも事実である。

そして実は、実数としても日本の労働人口の100人に1人は研究者であり、技術者はその数倍存在する。

憧れる高校生も多い中、高校においてもこうした職業の実像を知らせることには大きな意味があるはずだ。

そこで今回は研究者・技術者を包む“神秘のベール”をひとつひとつ取り除いていきたい。

まず1章では、それぞれの分野で活躍する研究者・技術者のインタビューを公開する。

どんな生徒・学生時代を過ごし、なぜこの仕事に就き、どのような仕事をする中、一体何に幸せを感じているのか？

研究者・技術者という道を歩む人々の人生がどのようなものであるのかを、イメージしていただければと思う。

2章では、研究者・技術者をめぐる数々の疑問に答える。

一体どんな職場に、何人くらい働いているのか、なるための条件は何か、

研究者と技術者の違いは何かなど、一般にはあまり知られていない事実を掘り下げていく。

研究者・技術者という職業は、ある意味で学校の勉強の蓄積が直接役立つ、

数少ない職業のひとつといえるかもしれない。

ぜひこの機会に高校の先生方にも、高校生たちにも身近に感じていただきたいものである。

## 1章 研究者・技術者7人の人生

国立天文台 理論研究部 小久保英一郎准教授

日本大学 文理学部 国文学科 小平麻衣子教授

ロボ・ガレージ 高橋智隆氏

東京大学医科学研究所 基礎医科学部門 神経ネットワーク分野 関野祐子准教授

国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター 鈴木謙介研究員

日本IBM株式会社 ソフトウェア事業 テクニカルセールス&サービス企画 羽鳥洋美氏

清水建設株式会社 関東支店 永田真也氏

## 2章 研究者・技術者をめぐる7つのQ&A

Q1 どこで、何人くらい働いている？

Q2 研究者と技術者の違いは？

Q3 どうすればなれるのか？

Q4 修行時代をどう乗り切るか？

Q5 どんな力が求められる？

Q6 日本の研究の強み、弱みは？

Q7 これから注目のテーマは？